

ごあいさつ

代表世話役 西本 孝

今年の春は、新緑が長続きしているようです。皆さんの周辺ではいかがでしょうか？

3月中旬、急に暖かくなって、ソメイヨシノは例年よりも早く咲きましたが、咲いてから、気温が低下したために、花が2週間近く咲きつづけて、目を楽しませてくれました。その後も暑いほどの日があり、朝は霜が降りるほどの寒い日もあり、季節の歩みはゆっくりです。

さて、4月28日には、自然観察会第11回「早春の毛無山」を開催しました。昨年と同様に、新庄村森林セラピー協議会との共催でした。一般参加者4名、森林セラピー協議会からは7名、当会からは15名の会員が参加して、まずまずの天気の中で、新緑が始まったばかりの毛無山の登山道を散策しました。春一番に咲く林床の植物や、動物の痕跡、野鳥を観察しながら、充実した楽しい時間を愉しみました。今年はブナも花を咲かせていて、道に落ちていた雄花や雌花で、花のつくりを確認しました。秋にはブナの果実が稔ると期待できます。

今後は、6月の年次総会で、自然観察会と共に、新しい年度の計画などを協議します。これからも会員の皆様と一緒に、自然観察を通じて自然の不思議さを実感しながら、充実した楽しい時間を持ちたいと思っております。

2019年 年次総会のお知らせ 参加希望者は橋本さんまで

- 開催日時：2019年6月16日（日）
10時～15時（午後は魚類又は河川状況によりチョウ身近な昆虫観察 雨天中止）
- 連絡先：michikusa@mist.ocn.ne.jp
- 開催場所：赤磐市中央公民館と砂川河川敷
- 集合：10時 赤磐市中央公民館
- 年次総会：10時～11時
活動報告と計画案の検討
- 研修：観察会の実践記録と進め方
午前：座学、午後：野外で体験
橋本さんから、午前はこれまで実践してきた観察会の開催事例を紹介していただきます。午後は、実際に河川敷で、魚類や水辺の生きものを採取し観察します。会員の皆さんも、自宅周辺で子どもたちを集めて指導できるように研修します（河川状況によりチョウ身近な昆虫観察）。

県外研修会（自主参加）開催のお知らせ 尾瀬ヶ原と至仏山、奥日光

- 開催日：2019年8月4日（日）～7日（水）（3泊4日）
- 開催場所：尾瀬ヶ原、至仏山、奥日光
- 内容：自然保護の発祥の地、尾瀬ヶ原を訪れます。群馬県の指導員の会とも交流予定です。

中国地方5県交流会（島根県）のご案内 皆さん予定しておいてください。

- 開催日：2019年10月26日（土）、27日（日）
- 開催場所：三瓶山（島根県大田市） 詳細は未定（決定次第連絡します）

会費納入のお願い

当会は、会費が年度制となっています。会費は年度制ですので、過去の会費も納入できます。未納の年度を明記して、会費を納入してください。総会時に支払っていただくか、欠席される方は、下記の郵便局で口座振り込みにより会費や寄付を納入してください。活動資金として活用させていただいています。

- ゆうちょ銀行 記号 15440 番号 38433761 NOI岡山（手数料は各自）
- 他金融機関からの振り込み 店名五四八 店番548 普通預金 3843376

ホームページのお知らせ

当会は、ホームページを開設しています。自然観察会の予定、会誌のバックナンバー、会費の振込先などの情報が掲載されています。

<http://www002.upp.so-net.ne.jp/noi/>

改元に伴う十日に及ぶゴールデンウィークの二日目 4月28日、天気はあいにくと曇り空で肌寒く感じられましたが、昨年続き毛無山での二回目の観察会が開催されました（写真1）。

当会のメンバーに加え、新庄村森林セラピー協議会、一般の方々と一緒に二十数名で観察会を楽しみました。

植物全般は西本先生、小動物は山田さん、野鳥は宮林さんにご説明いただきました。

事前に用意していただいた資料の写真を参照にしながら、西本先生が指さした植物を同定していくというクイズ的なスタイルでスタートしました。

今回のテーマである「スプリング エフェメラル」春の妖精

は落葉樹が葉を落としている時期に活動し、葉が茂る前に開花し消えていくというこの時期にしか観察できない何とも魅惑的なグループです。

早速、田浪キャンプ場の駐車場の空き地で、西本先生からクマシデの説明が始まりました。シデという名は、丁度今開花している花穂の状態が神事に使う四手に似ているので名付けられたという話をお聞きしました（写真2）。

また、普段何気なく口にしているスミレという名も、大工さんが使う墨入れに花の形が似ているというので名付けられたという話をお聞きし、今回参加したメンバーは経験豊富な人生の達人ばかりでしたのでご理解できたようですが、今後ヤング世代にどう伝えていくかも自然観察指導員の腕の見せ所かもしれません。

昨年は登山道の入口付近で花盛りだったトキワイカリソウは今回一部で花が見られましたが、チョッと時期が早すぎたようでした。ミヤマカタバミは道沿いに一杯花がついていたのですが、曇空のためか充分開花しておらず、帰り際にどうにか花卉が解け始めました。ヒゲボタン、ボタンネコノメソウ、コチャルメルソウとユキノシタ科のメンバーを次々に観察し、特にコチャルメルソウの花の様子を観察した際に本当に自然の不思議を感じました（写真3）。

西本先生からコチャルメルソウは結実すると上向きに成長し、雨滴で種子が散布するという雨滴散布というスタイルで広がっていくという説明もお聞きしました。で、チャルメルって何？屋台の中華ソバ屋が鳴らしていたラッパという事は何となく理解できますが、もはや元のチャルメラの姿形は想像できません。

毛無山は県北にあり、冬期積雪が多いという気象条件もあり、降雪に適應できるように低木のハイヌガヤやチャボガヤが生育しているという説明もお聞きしました。登山道を登りながら三合目を過ぎ、ブナが生えているところまで登ると、西本先生からブナの雄花が落ちていて、今年は二年に一回のブナが結実する年という話がありました。

帰り道もミソサザイやヒガラの声を聞きながら、スミレサイシン、エンレイソウの花を楽しみながら戻りました。

そして、恒例のサクラ茶屋での昼食会では、地元の人々に山菜を準備していただき、美味しいひと時を過ごす時が出来ました。

岡山の県北と県南という特徴あるロケーションを上手く利用し、今後も楽しい観察会を企画していただけるようお願いいたします。



写真1. 新緑が始まったばかりの毛無山での自然観察会の一コマ。



写真2. クマシデの花。



写真3. コチャルメルソウの花。